

大宮区役所旧庁舎等解体工事

工事説明会資料

1.日 時

【第1回】令和3年12月3日（金）午後7時から午後8時30分まで

【第2回】令和3年12月4日（土）午前10時から午前11時30分まで

【第3回】令和3年12月4日（土）午後2時から午後3時30分まで

（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3回に分けて開催します。）

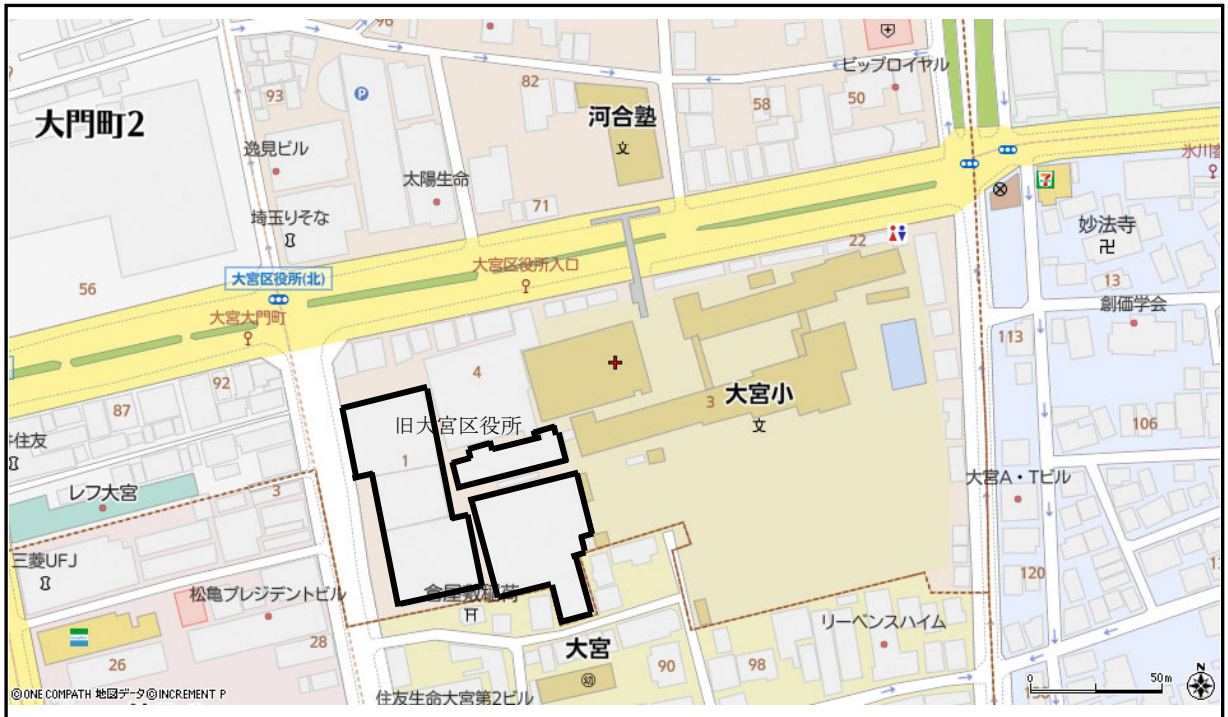
2.場 所

大宮区役所4階 401・402会議室

1 大宮区役所旧庁舎等解体工事概要

工事名称	大宮区役所旧庁舎等解体工事
発注者	さいたま市長 清水勇人
工事場所	さいたま市大宮区大門町3丁目1番地
契約工期	令和3年10月15日～令和6年6月6日 工事着手予定 令和4年1月上旬
受注者	佐伯・ユードイケー・カタヤマ特定共同企業体 代表構成員 株式会社 佐伯工務店 代表取締役 安藤正浩
工事監理	さいたま市 建設局 建築部 営繕課
工事概要	旧庁舎等の解体・撤去工事 ・本館・南館：鉄筋コンクリート造・地上7階建て地下2階 11,487.82 m ² ・東館：鉄筋コンクリート造・地上3階建て 1,475.66 m ² ・自走式立体駐車場：鉄骨造 1,591 m ² ・事務所：鉄骨造・地上2階建て 210 m ² ・倉庫・駐輪場等附属建築物 約100 m ²

案内図



2 解体工事施工上の安全対策

① 解体工事施工上の安全対策

- ・ 工事期間中は、現場敷地内に現場事務所を設置し、現場代理人及び JV 職員が常駐します。なお、連絡先等については決定次第、仮囲いに設置した週間工程表の下部に記載します。
- ・ 工事期間中は、周辺の皆様方に対する安全確保、工事災害、公害の発生防止に努めます。
- ・ 解体工事に従事等する作業員に対して、安全対策・風紀衛生等の維持について、指導監督を徹底します。

② 仮囲いについて

- ・ 工事敷地外周には、仮囲い(鋼板製、高さ 3 m)を設置します。

③ 作業日等について

- ・ 作業日は月曜日から土曜日とし、日曜日(祝祭日)は原則として作業は行わないものとします。ただし、災害時や緊急的処置を要するものについては作業を行う場合があります。
- ・ 作業時間は、原則として 8 : 0 0 から 1 8 : 0 0 (重機作業は 8 : 30 ~ 17 : 00) までとします。天候等により、やむを得ない作業については作業時間を延長する場合があります。
- ・ 週間工程表を仮囲いに掲示し、作業内容、休日、時間延長、休日作業をお知らせ致します。

④ 工事車両進入経路及び交通安全対策について

- ・ 工事車両出入口については、交通誘導員を配置し、安全確保に努めます。
- ・ 工事車両は道路関係法令及び周辺道路の駐車禁止を遵守致します。
- ・ 工事車両のタイヤ等に付着した泥土等は、場外に飛散させないように致します。搬入路に接する道路は、適宜、清掃・散水等により清潔に保ちます。

⑤ 主要な解体工事の工法について

- ・ 【上部解体】各建物の内装材を撤去した後、油圧ショベルに大きなハサミのようなアタッチメント(油圧破砕機)を装着し、上部から少しずつ取壊します。(圧砕工法)
- ・ 【基礎解体】大型の基礎で油圧破砕機での挟み込みが困難な箇所においては、コア穴(削孔)や切断を併用しながら取壊します。(静的解体工法)
- ・ 【杭引抜き】既設杭の外周にケーシング(円型の鉄板)を圧入し、杭と地盤に隙間を作ります。その後クレーンで杭を引抜き、引抜穴は再生砂で埋め戻します。

⑥アスベストの除去について

- ・ 建物内部の仕上げ材にアスベスト含有建材があります。除去方法は、石綿障害予防規則等を遵守し適切に除去します。アスベスト除去は剥離剤を使用した、作業方法にて行います。(剥離剤併用手工具ケレン工法)

除去したアスベスト含有建材は、事前に決定した特別管理産業廃棄物指定業者による運搬・最終処分を致します。

別紙施工フォローチャート参照

※検出されたアスベスト建材

別紙参照

⑦振動・騒音対策について

- ・ 工事機械、車両の選定にあたっては、低騒音・低振動の機械等を使用し、振動規制法及び騒音規制法を遵守するとともに、設置場所、使用方法等に十分留意し、騒音・振動の軽減に努めます。

西側道路面には振動騒音計を設置します。

⑧塵埃の飛散防止について

- ・ 解体作業箇所では散水を行い、塵埃の飛散防止に努めます。

⑨火災防止について

- ・ 火気使用作業については、作業場周辺の可燃物の除去と消火器類を設置し、火災防止に努めます。

3 連絡先

工事監理者 さいたま市 建設局 建築部 営繕課
担 当：三枝 誠
TEL：048-829-1527

受 注 者 佐伯・ユードイケー・カタヤマ特定共同企業体
(工事連絡先) 担 当：現場代理人・飯嶋 信男
TEL：048-665-4440(代表)

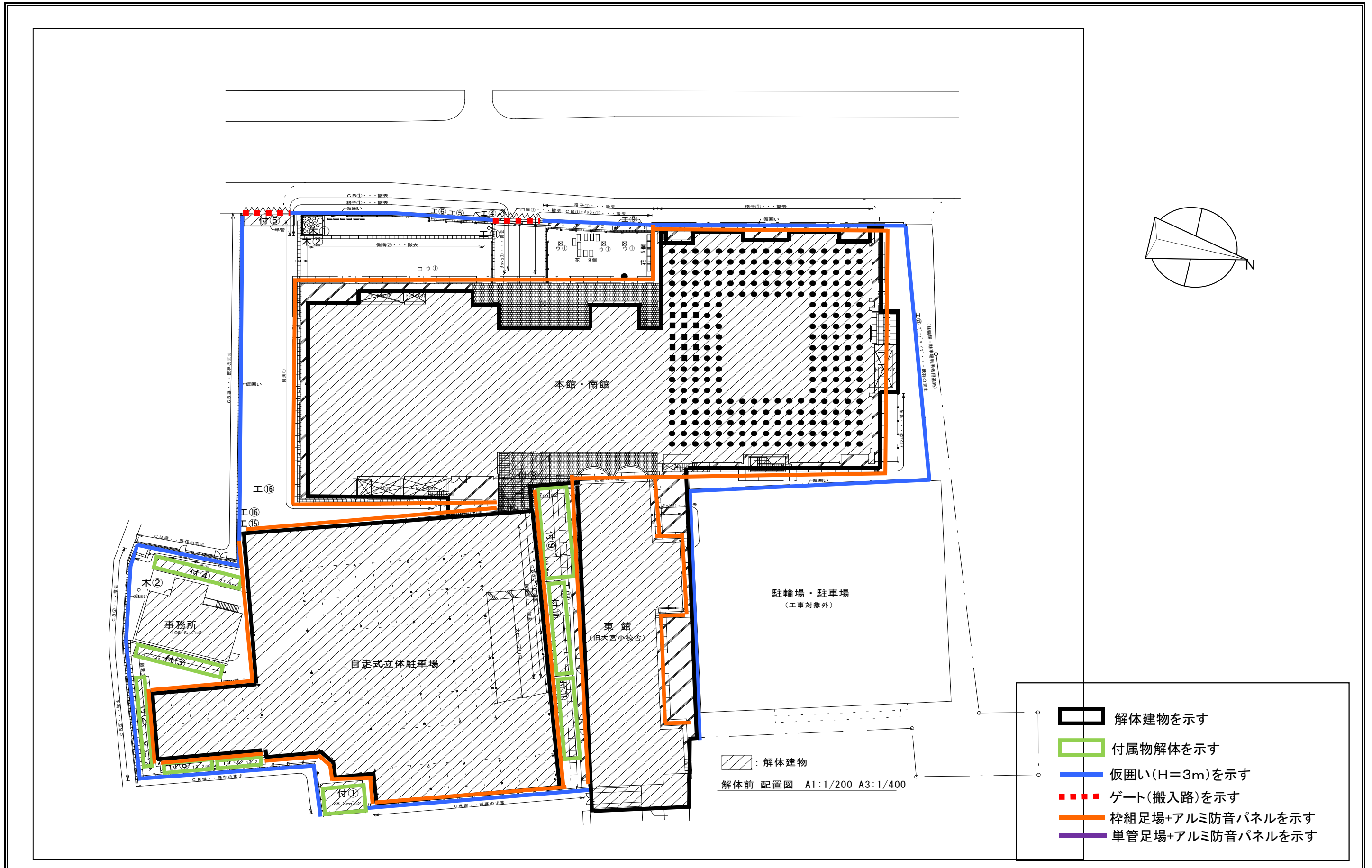
※ 現場事務所の電話を設置次第、週間工程表の下部に記載致しますので、お気づきの点がございましたら、ご一報くださるようお願い致します。

仮設計画図

工事名：大宮区役所旧庁舎等解体工事

工期：令和3年10月15日～令和6年6月6日

受注者 佐伯・ユードイケー・カタヤマ特定共同企業体

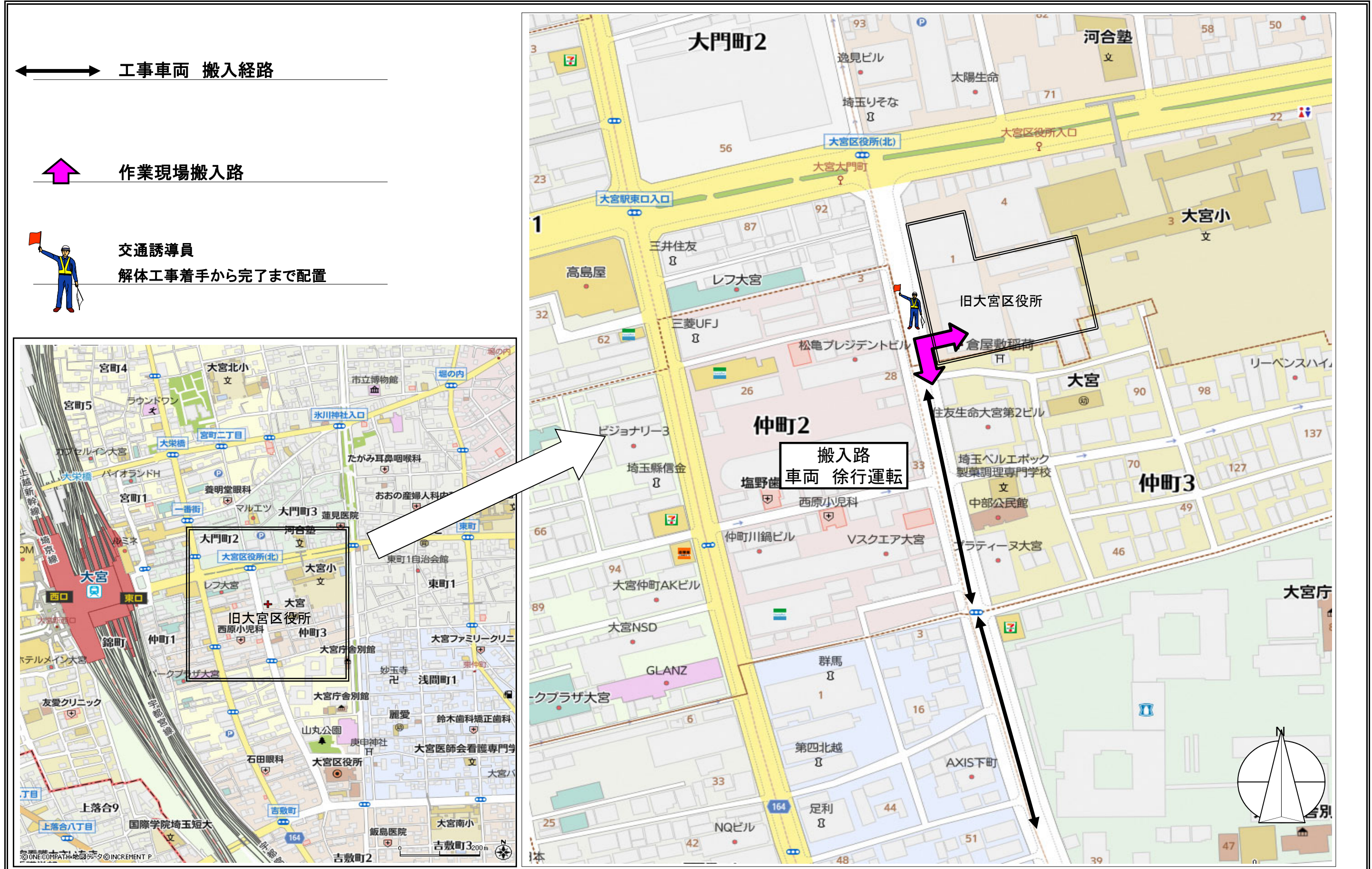


搬入経路図

工事名：大宮区役所旧庁舎等解体工事

工期：令和3年10月15日～令和6年6月6日

受注者 佐伯・ユーディケー・カタヤマ特定共同企業体



工 事 名	大宮区役所旧庁舎等解体工事
工 事 場 所	さいたま市大宮区大門町3丁目1番地
工 期	(自) 令和3年10月15日 (至) 令和6年6月6日

受注者	佐伯・ユードイカー・カタヤマ特定共同企業体
代表構成員	埼玉県さいたま市北区日進町1丁目319番地
株式会社 佐伯工務店 代表取締役 安藤 正浩	

工 事 工 程 表

工 種	設計 数量	令和3年	11月	12月	令和4年	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和5年	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和6年	2月	3月	4月	5月	6月		
		10月	10月	10月	1月	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月	1月	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月		
準備工・片付工 仮設工事					仮設設置																															
本館・南館解体	8,796 m ²																																			
防音パネル囲い	1 式																																			
内装解体	1 式																																			
本体解体 (地上部)	1 式												RC棟上部解体	A棟陸上解体	A棟地上解体																					
本体解体 (地下部)	1 式																																			
山留工事	1 式																BG工法	鋼矢板圧入																		
埋戻し・地盤改良	1 式																																			
杭拔工事	1 式																																			
東館解体	1,508 m ²																																			
防音パネル囲い	1 式																																			
内装解体	1 式																																			
本体解体	1 式																																			
渡り廊下解体後修 復工事	1 式																																			
杭拔工事	1 式																																			
自走式駐車場解体	1,559 m ²																																			
防音パネル囲い	1 式																																			
本体解体	1 式																																			
アスベスト処理																																				
アスベスト処理	1 式																																			
外構解体・整地																																				
外構解体工事	1 式																																			
解体後整地	6,811 m ²																																			

内装材分別解体状況 参考写真



事前に内装材及び内部造作材を種類ごとに分別をして搬出します。

分別をした廃材は中間処理場にてリサイクルされます。

鉄筋コンクリートの圧砕状況および散水状況 参考写真

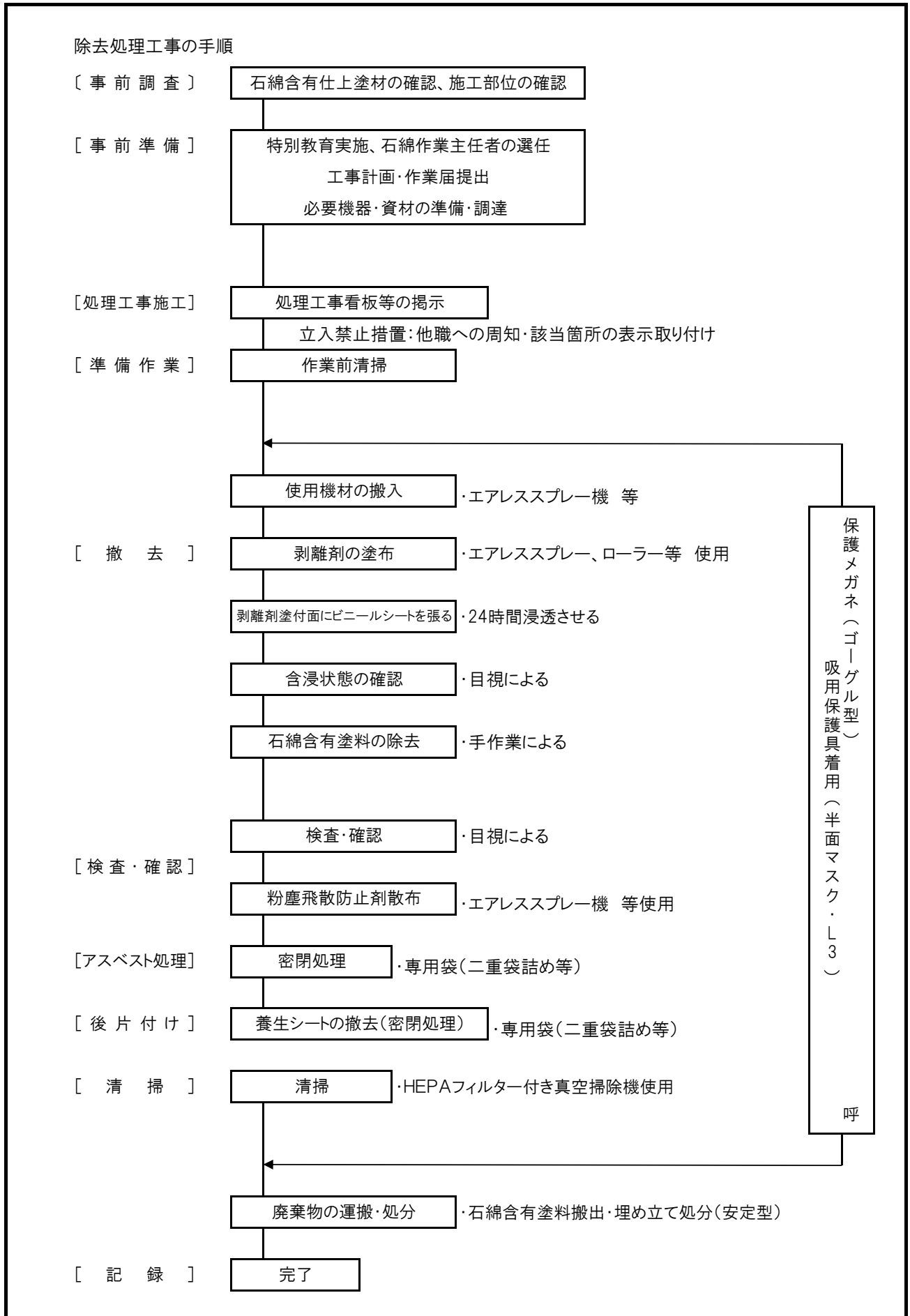


鉄筋コンクリートの解体は、振動と騒音が少ない**圧砕工法**を採用します。

鉄筋コンクリートの圧砕時は、**散水養生**にて粉じんを抑制します。

外壁アスベスト撤去

施工フローチャート (仕上塗材除去・剥離剤併用手工具ケレン工法.工法区分2)



外壁アスベスト撤去施工方法 仕上塗材(剥離剤併用手工具ケレン工法)

以下に、石綿含有塗料建材の除去に対する作業内容を記載する。

(1) 機材等の搬入作業

工事着手前に予め打合せを行ない、所定の場所へ機材等を搬入し整頓して保管する。

※石綿事前調査結果を関係労働者の見やすい場所に掲示する。

(2) 作業区域の入口に「関係者以外立入禁止」・「石綿作業主任者の職務」・「石綿取扱い注意事項」 「喫煙・飲食の禁止」・「石綿事前調査結果」の掲示板を設置する。

※アスベスト使用部位・範囲・立入禁止・期間等他職種を含む全作業員への周知を図る。

(事前打合せの徹底・朝礼・作業打合せ時の指示伝達を徹底する)

(3) 床面は、養生作業前に、高性能真空掃除機・ぬれ雑巾等で予め、清掃を行う。

(4) 施工場所の養生と足場の設置

1) 足場の設置

養生設置及び石綿除去作業で使用する足場を設置する。

2) 床養生作業

資材の移動、足場架設、作業員の歩行等で床に敷いた 0.15mmプラスチックシートが破れないように、目地をずらして接着する。

養生作業を行う時、石綿含有塗料に接触し、吸入性石綿繊維が飛散する可能性があるため、下記事項を適用する。

a.養生作業従事者は、呼吸用保護具(半面マスク・RL3)を使用する。

b.粉じん等の付着しにくいカッパ等を着用し、必要に応じ保護衣を着用する。

c.養生により落下した石綿含有塗料は、高性能真空掃除機で掃除する。

(5) 送気装置の設置作業

1)作業中に臭気による作業員の体調不良の発生を防ぐ為に集塵排気装置を設置し、送気措置を実施する

(6) 粉じん飛散防止剤吹付け機械の設置作業

除去後、養生シート等に付着した石綿繊維がある事を想定し、石綿粉じん等を養生シートに固着させるために、粉じん飛散防止剤を散布するための吹付け機械(エアレススプレー)を設置する。

(7) 作業場内への出入について

作業場内への出入には、次の点に留意する。

1)作業場内に入る場合には、繊維の付着しにくいヤッケ等を着用し、作業場から出る際には濡れウエス等で付着物を拭き取る。作業終了後には洗眼、うがいをする。また、使用した工具等は 洗浄設備(真空掃除機・水バケツ等を設け洗浄する。なお、通勤時には通勤衣に着替える。

(8) 石綿含有仕上塗材除去作業

石綿含有仕上塗材除去作業は、次の手順で行う。

1) 石綿含有塗料剥離剤を塗布する。(エアレスプレー等を使用)

2) 乾燥防止のビニールシートを張り24時間剥離剤を浸透させる。

3) 剥離剤の含浸度合を確認する。含浸度が不十分であった際には再度剥離剤を塗布する。

4) 剥離剤が効いている事を確認後、スクレーパー・ケレン等により、石綿含有塗料材を剥ぎ取る。
ブラシ・ウエスを使用して細部に付着している仕上塗材を取り除く。

5) 元請担当者は除去検査を行い、承認する。(NGの場合、再度除去、清掃、防止剤散布)

6) 除去した下地面に粉塵飛散防止剤(固化剤)を吹付ける。吹付量は、原液0.15～
0.30mm/m²とする。

5) 密閉処理、廃石綿専用のプラスチック袋(二重)に密封し搬出する。
廃石綿等の一時保管場所については工事関係者以外が触れない様に施錠出来る所で保管管理する。

(9) 養生シート面への粉じん飛散防止剤(固化剤)散布

養生シートに付着した粉じんの再飛散を防止するため、養生シート全体に、まんべんなく粉じん飛散防止剤を散布する。

(10) 資機材、工具等の洗浄と場外搬出

作業場内で使用した資機材、工具等は洗浄及び拭き取り後作業場外に搬出する。

(11) 床面等養生シートの撤去

床面等養生シートは、粉じん付着面を内側にして折りたたみ、プラスチック袋で二重梱包の上、特別管理型産業廃棄物として処分する。

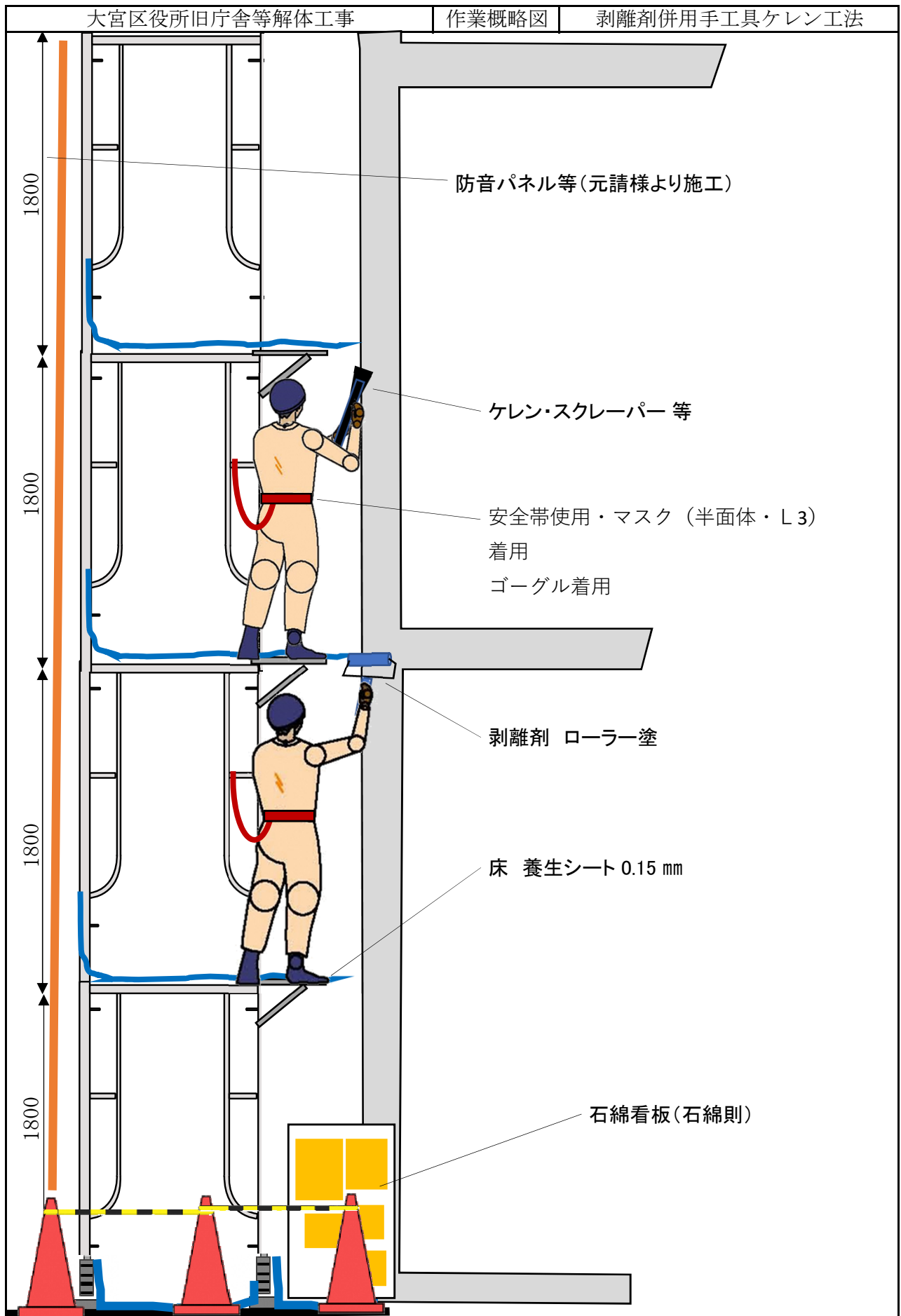
(12) 仕上清掃

撤去作業が終了した作業場内を、高性能真空掃除機によって清掃する。

(13) 片づけ・機材搬出

作業場周辺を片付け、清掃の上、機器等を搬出する。

外壁アスベスト撤去 施工概略図 (工法区分Ⅱ)

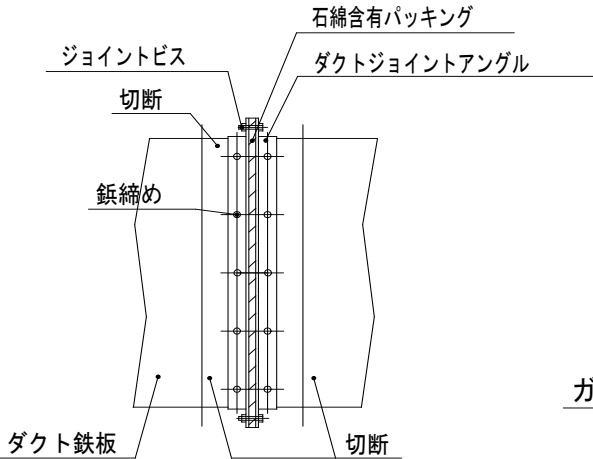


設備機器・配管材アスベスト撤去

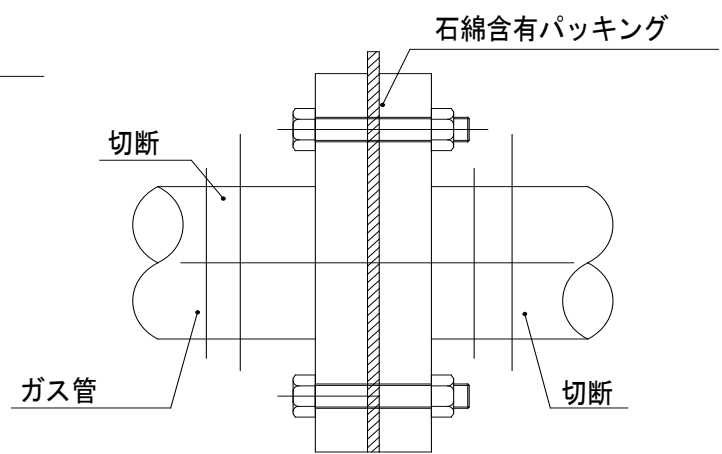
●非石綿部での切断による除去【ダクトパッキン・配管パッキン】

建築物ダクトには、接合部のパッキンに、石綿含有物が使用されている。
 この場合は、石綿含有物の含まれていない箇所での切断し、切断した部位ごと袋詰め(二十梱包)し、廃棄処理します。

参考図1 設備機器ダクト接合部の除去方法



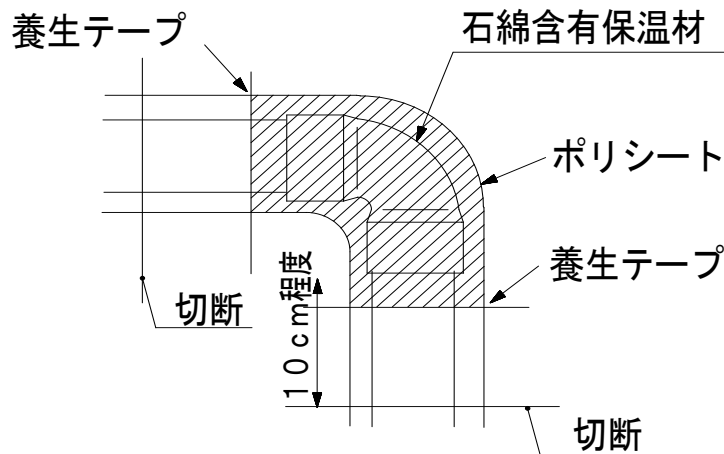
参考図2 配管フランジパッキンの除去方法



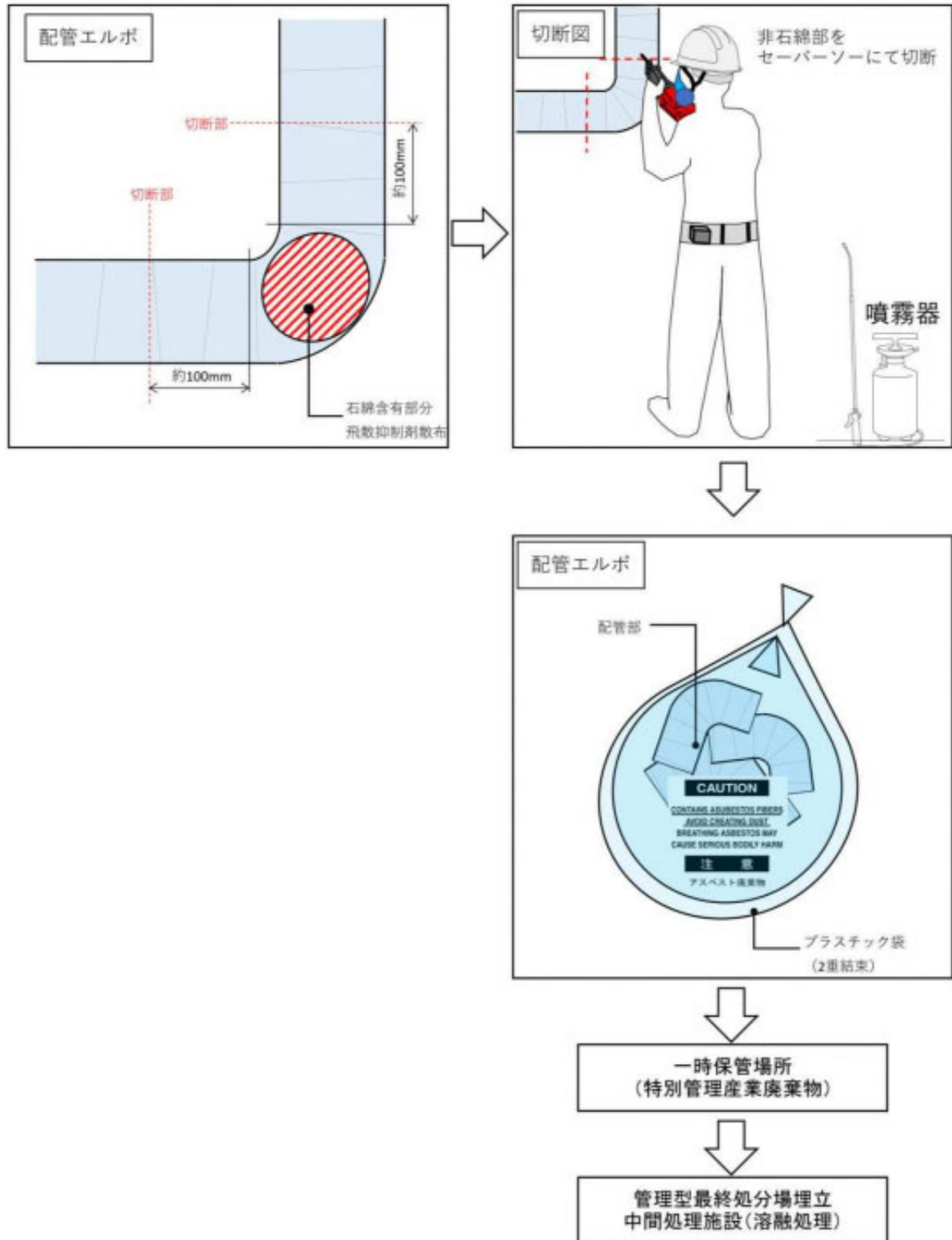
●非石綿部での切断による除去【配管保温材】

配管エルボ部をシート養生し、飛散抑制散布材を塗布し、石綿含有物の含まれていない箇所での切断し、切断した部位ごと袋詰め(二十梱包)し、廃棄処理します。

参考図3 石綿含有保温材付配管の除去方法



石綿含有保温材撤去概要図



作業計画(同類工事参考写真)

1.施工前



2.養生状況



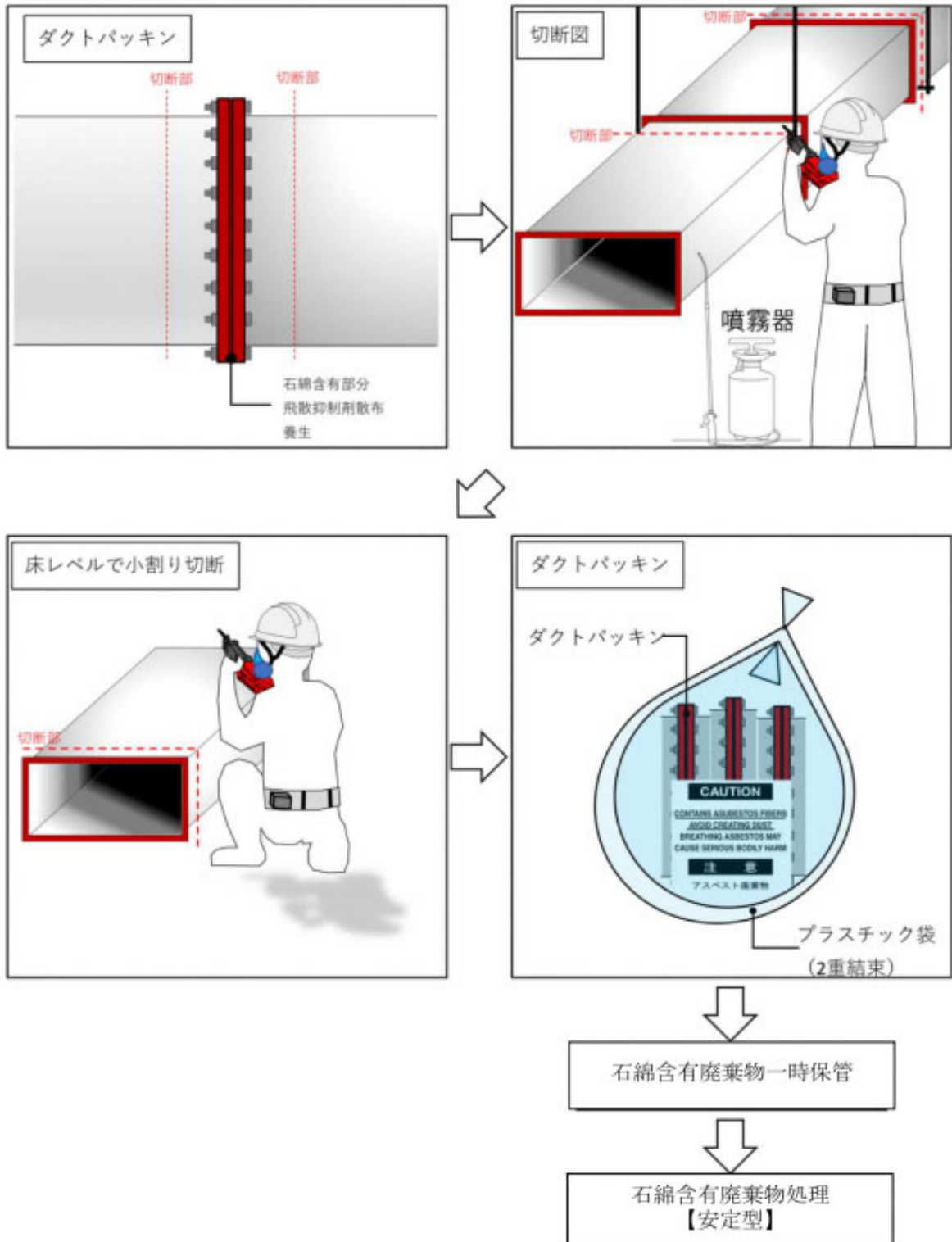
3.切断状況(石綿非含有部にて)



4.撤去完了・2重梱包にて産廃搬出(特別管理産業廃棄物)



石綿含有ダクトパッキン撤去概要図

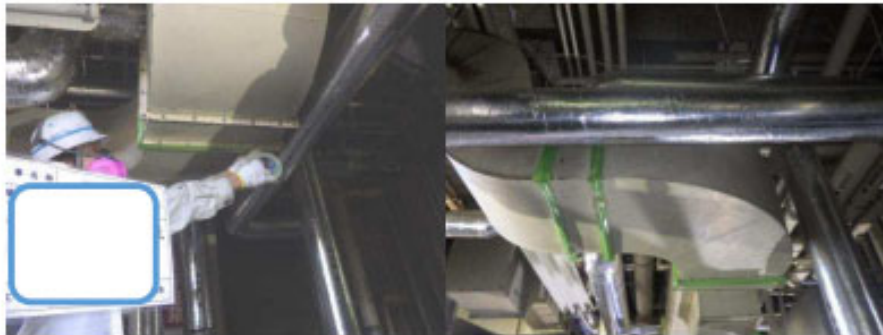


作業計画(同類工事参考写真)

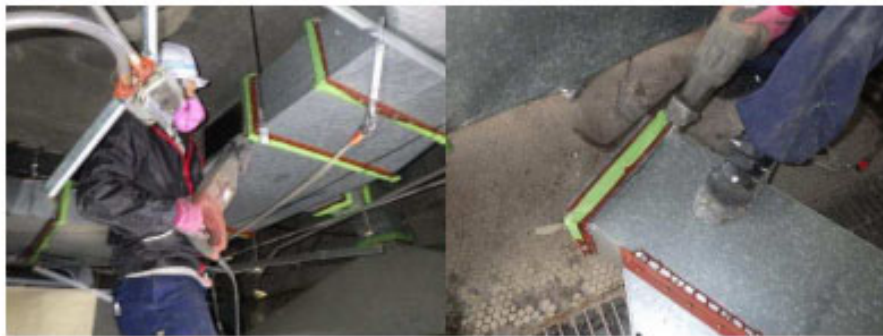
1.施工前 現況



2.養生状況



3.切断状況 (石綿非含有部にて)



4.撤去完了・廃棄物処理 (廃石綿等及び石綿含有産業廃棄物)



石綿含有建材表【建築】（参考）

名 称	棟 名	採取場所	備 考
本館 外部			
外壁 吹付タイル	本館(旧A棟)	外壁	レベル3
外壁 吹付タイル	南棟(旧C棟)	外壁	レベル3
仕上げ塗材	旧A棟地下2階	外壁(化粧パネル)	レベル3
本館 内部 壁			
リシン吹付	本館(旧A棟)	各階	レベル3
リシン吹付	本館(旧B棟)	各階	レベル3
本館 内部 天井			
石膏ボード	南棟(旧C棟)	各階	
穴あきボード	本館(旧A棟)	各階	レベル3
岩綿吸音板①(目地有)	本館(旧A棟)	各階	レベル3
旧C棟フレキシブルボード	南棟(旧C棟)	各階	レベル3
旧A棟フレキシブルボード	本館(旧A棟)	各階	レベル3
本館 内部 床			
サイディングボード(屋内)	南棟(旧C棟)	各階	レベル3
サイディングボード(屋外)	南棟(旧C棟)	外壁	レベル3
Pタイル①	本館(旧A棟)	各階	レベル3
長尺シート④(4階病院用)	本館(旧A棟)	各階	レベル3
プラスチックタイル	本館(旧A棟)	各階	レベル3
東館(旧大宮小)			
壁 マスチック塗装	壁	渡り廊下	レベル3
壁 スレート板	壁	各階	レベル3
天井ボード	天井	各階	レベル3
事務所			
フレキシブルボード	天井	2階	レベル3
壁 スレート板	壁	2階	レベル3
ソフト巾木	巾木	2階	レベル3
付属建物			
スレート屋根	産廃保管庫	屋根	レベル3

石綿含有建材表【機械設備】（参考）

名 称	棟 名	採取場所	備 考
エルボ保温材(赤・白・黄)	本館(旧A棟)	各階配管	レベル2
モルタル配管カバー	本館(旧A棟)	各階配管	レベル3
配管アスファルト巻き	本館(旧A棟)	各階配管	レベル3
フランジパッキン①②	本館(旧A棟)	各階配管	レベル3
ダクトパッキン①	本館(旧A棟)	各階ダクト	レベル3
ダクトパッキン②	本館(旧A棟)	各階ダクト	レベル3
ダクト断熱材	本館(旧A棟)	各階ダクト	レベル2
冷温水器アスファルトシート	本館(旧A棟)	各階冷温水器	レベル3
カバープレート	本館(旧A棟)	各階空調機	レベル3
エルボ保温材	本館(B棟)	各階配管	レベル2
フランジパッキン	本館(B棟)	各階配管	レベル3
配管アスファルト巻き	本館(B棟)	各階配管	レベル3
エルボ保温材	事務所	1階	レベル2

(備考欄のレベル表記凡例)
 発塵の度合いによる作業レベル

作業レベル	作業内容	主な石綿含有建材
レベル1	発塵性が著しく高い作業となり、嚴重なばく露対策が必要となる。	吹付けアスベスト
レベル2	発塵性が高い作業となり、高いレベルのばく露対策が必要となる。	保温材、煙突断熱材等
レベル3	発塵性が比較的低い作業となり、湿式作業を原則とする。	成形板等